

東野中学校マニフェスト（中期学校運営計画）

計画期間

平成19年11月1日～平成24年3月31日

学校教育目標

自分らしい生き方を目指して

- ・ 基礎・基本を大切にし、心と体をすこやかに育みます。「心と体」
- ・ 自分のよさを伸ばし、創造する力を育てます。「個性」「解決」
- ・ 互いに認め合い、基本的なモラルを身に付け自立する力を育てます。「共生」「自立」

学校経営方針

- ・ 生徒の誰もが自己の存在感や有用感をもち、仲間と連携する喜びを味わえる取組を実施します。
- ・ 全職員が相互理解し、「分担と協業」をなお一層推し進め、組織として機能するように努めます。
- ・ 小中連携をさらに進め、9年間で生徒を育てる環境整備に努めます。
- ・ 地域とともに歩む学校づくりに努め、保護者や地域の信頼に応える教育実践、地域の教育力の積極的な活用を目指します。

指導の重点

- ・ 「わかる授業」「学ぶ喜びを実感できる授業」の実現のため、「習熟度別授業」を心に置いて、「個に応じた授業の展開」に努めます。
- ・ 3年間を通じたキャリア教育に取り組み、市民として積極的に自己の生き方を切り開こうとする意欲を育てます。
- ・ 学区内の小学校との交流をさらに深め、さらに、児童生徒、教職員相互が互いに学び合える関係を築きます。

改善の視点

1. 新学習指導要領をもとに、横浜版学習指導要領を参考にしながら、新教育課程を編成します。東野中学校らしい教育実践を再構築する必要があります。

2. 小中学校9年間の教育活動を通し、生徒一人ひとりの実状を理解し、職員全体で共有し、具体的に关わる体勢づくりを充実させる必要があります。

3. 東野中学校としてのキャリア教育を進め、義務教育終了後の進路選択と決定、将来、社会人、職業人として普遍的に求められる基本的な資質、市民として生きぬく力を養わせる必要があります。

取組目標

基礎・基本のなお一層の定着を図る取組を大切にしつつ、学校全体としての底上げを目指します。

平成19年度より、学校教育目標を見直します。平成19年度より、国や市の動向を考慮しながら英語科の目標、指導計画、評価規準を検討し作成します。平成20年度中に、小中一貫カリキュラムの編成を研究します。

- ・ 学力状況調査の結果を分析し、学力の向上に取り組みます。
- ・ 積極的に外部評価、内部評価を取り、教育活動のPDCAに役立てます。

- ・ 平成21年、本校としての現行の小中連携を発展させながら、小中一貫教育を視野に入れた小学校との交流活動を継続して行きます。

平成19年度より、2年次のチャレンジタイム（小学生との交流授業）をステージアップさせ、新たな小中交流の方策を検討します。生徒の交流とともに教職員の交流を進め、お互いの児童生徒の実態を理解するための意見交換に努めます。

3年間を見通したキャリア教育（進路指導も含む）を行います。

- ・ 1学年では、職業インタビュー、職業体験、小中交流をします。
- ・ 2学年では、職業講話、職業体験、小中学校交流体験の取組をします。
- ・ 3学年では、職業体験、進路講話をします。

<p>4. 今まで以上の計画的な職員研修会を設定し、課題に応じた、職員の具体的な質の向上に努める必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して計画的に行われる校内研修を再度点検し、さらに内容を深化させます。 ・ 経験年数に応じた自己研修（校内研修、外部研修、教育委員会研修等）を進めます。日々の取組の中で、職員間によるOJTを進めます。若手職員と中堅職員が相互にスキルアップできるような組織を目指します。
--	--

<p>人材育成の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東野中学校に所属する教職員一人ひとりが進んで参加し、生徒とともに活動する喜び、充実感を享受できる教育活動を念頭に置き、計画、実践をします。 ・ 中堅層と呼ばれる教員がグループの核となって、行事に取り組めるよう実行委員会の構成を考え組織します。 ・ 経験年数の長い教員、短い教員の組み合わせを考えた校務分掌のあり方を考え、それぞれの良さが発揮されつつ、互いに学べる組織作りを実施します。 ・ 教職員個々の特性に応じ、教育委員会主催の研修会へ積極的に参加を進め、専門職としての視野や考え方を高めるようにします。
<p>平成19年度の重点取組項目</p>	<p>3年間を見通した「東野版キャリア教育」を実施します。 各学年とも小学校との交流活動（授業交流、小学校の運動会、音楽祭等）に参加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の新体力テストを全学年に8種目導入します。 ・ 安全教育推進委員会を設立します。（安全教育推進の指定校）生徒一人ひとりの防犯・防災意識を向上させる、3年間を見通した学習をします。 ・ 児童指導、生徒指導を中心とした、学区内の小学校との連携会議「小中連絡協議会」を月1回行います。 ・ 積極的な外部評価を実施し、今後の教育活動に生かします。
<p>これまでの取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が小学校の授業や行事に参加し、小学校の様子を理解することができた。 ・ 小中連絡協議会を通して学区内児童生徒の理解がより深まり、さらに行事を実施する際には事前に小中学校間の予定を互いに確認する場にもなった。 ・ 「東野版キャリア教育」として、1年生では夏季休業中の職業インタビュー、2年生では職業講話、小中学校交流体験（チャレンジタイム）、3年生では進路講話を2回実施した。 ・ PTA地区委員の協力を得て小中合同防災訓練を実施し、生徒の防災意識を高めるとともに、中学生が小学生を引率して集団下校させリーダーとしての気持ちがついた。 ・ 保健委員会の生徒が横浜市民防災センターにおいて防災体験をし、日ごろの防災に対する意識を育てた。また、防災たよりを発行し、情報の発信に努めた。
<p>まちとともに歩む学校づくり懇話会の意見等</p>	<p>保護者からの外部評価、学校・家庭・地域連絡事業地区協議会等で次の意見をいただきました。主な意見です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつをしてくれる生徒が多く、気持ちが良い。 ・ 合唱が東野中学校の行事として卒業生から在校生へと引き継がれ、保護者として嬉しい。 ・ 合唱コンクールを見て、子どもたちが発表する態度だけではなく、聴く側の態度も大変良かった。 ・ 選択教科に力を入れている。これからも基礎学力の定着に力を入れて欲しい。 ・ 最近、各地で事件、事故が増加している。家庭、地域の責任をしっかりと果たし、子どもの成長を願う地域を築いていきたい。 ・ 瀬谷区内の防犯モデル校に二つ橋小学校、相沢小学校東野中学校がなったので、地域として出来ることをやっていきたいです。